



平成 29 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
(コード番号 6619 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 戦 略 企 画 本 部 長
大 内 秀 雄
(T E L 0 3 - 5 4 3 6 - 7 1 5 5)

中期経営計画『Vision 2020』策定に関するお知らせ

ダブル・スコープ株式会社（以下、WS）では、2016年8月公表の中期経営計画を更新し、2020年12月期までの中期経営計画『Vision 2020』を策定いたしましたので、概要を以下のとおりお知らせいたします。

この中期経営計画更新の目的は、当社の販売先であるリチウムイオン電池メーカー業界が、2018年中頃から急速に伸びる電気自動車向けの電池供給に備え大型設備投資を決定される中、当社の中長期の事業方針をより明確にするためのものです。

当社では2020年までに生産規模を3倍（2016年末比）に増やす設備投資計画に取り組んでおります。

記

1. ビジョン

メンブレンフィルム専業メーカーとして、リーディングカンパニーを目指します。

2. 成長への基本戦略

① リチウムイオン電池セパレータ事業

世界的に環境対策の観点から化石燃料系の自動車販売に対する規制方針が打ち出される中で、自動車用リチウムイオン電池の需要は今後飛躍的に伸びる見通しとなりました。

このような状況下において、電気自動車サプライチェーンの一翼にあるリチウムイオン電池主要部材メーカーとして以下の成長戦略を実行します。

- 市場の拡大に伴う生産能力の拡大
- 大型製造ラインによる生産性の追求
- 製造原価低減へのチャレンジ
- 電気自動車の安全性を担保する高品質の維持

② 新規事業への取り組み

現状の当社の事業はリチウムイオン電池用セパレータの単一セグメントとなっておりますが、当社の保有する生産技術が基本的にはメンブレンフィルムの製造技術です。

今後更に以下の様なセグメントに取り組むべく製品開発を続けて参ります。

- エネルギー関連用途：次世代電池・キャパシタ等
- 水関連用途：イオン交換膜、水処理フィルタ等
- 空調関連用途：不可逆フィルタ等
- 医療用途：透析膜、人口皮膚等

3. 設備投資計画

当社では大韓民国忠清北道吾槍市の製造子会社 W-Scope Korea (WSK) 3 区画の工場用地にて既にセパレータ生産ライン7本が稼働中であり、第8号ラインは量産試作中、本年末には第9号ラインの稼働開始も予定しております。また、コーティングラインも現在4本が稼働中であり、本年末までにさらに2本のラインが稼働開始を予定しております。

さらに、同忠州市の製造子会社 W-Scope Chungju Plant (以下、WCP) では工場棟の建築と生産設備の据え付け準備を進めており、2018年上期には2本の生産ラインが稼働を開始する予定です。WCPの工場用地は約7万坪(約200,000㎡)であり、WCP合計12本の大型生産ラインの投資を継続し実施する予定です。

4. 計数目標 (連結ベース)

	2016年 12月期 (実績)	2017年 12月期 (予想)	2018年 12月期 (計画)	2019年 12月期 (計画)	2020年 12月期 (計画)
売上高	9,048 百万円	10,000 百万円	18,000 百万円	28,000 百万円	40,000 百万円
営業利益	2,370 百万円	1,000 百万円	3,600 百万円	5,600 百万円	10,000 百万円
ROE	11.8%	2.6%	12.0%	12.0%以上を目指す	

前提条件

円対1米ドル	108.6	上期実績 112.3 下期予想 110	110
円対1,000ウォン	93.6	上期実績 98.4 下期予想 100	100
ウォン対1米ドル	1160.5	上期実績 1,142 下期予想 1,100	1,100

※2016年8月公表値から営業利益率を営業利益へと表記を変更しております。また、前提条件見直しに伴い2018年12月期(計画)の売上高を変更しております。

本資料に記載されている将来の業績に関する予想、計画等は現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上